



金沢小中一貫教育とは

金沢市教育委員会では「金沢小中一貫教育」を推進しています。これまでも行われてきた小中学校の連携をさらに充実・発展させ、9年間を見通した連続性、系統性のある教育活動を展開することにより、よりよい児童生徒の成長を図ろうとするものです。

金石中学校区の取組(グランドデザイン)

金石中学校区としては金石中学校、金石町小学校、大野町小学校、木曳野小学校の4つの小中学校が協力して金沢小中一貫教育を推進しています。そこで、今年度の主な取組(グランドデザイン)について主要な部分を以下に簡単に説明します。

金沢市学校教育振興基本計画

「めざすべき金沢の子ども像」

- 1 自ら学び、自ら考え、創造する子
- 2 正しく判断し、責任を持って行動する子
- 3 自他ともに認めあい、お互いを高めあう子
- 4 心身ともに健康で、たくましく生きぬく子
- 5 夢を抱き、何事にも粘り強く挑戦する子
- 6 金沢に誇りを持ち、ふるさとを愛する子



1 金石中学校区における目指す子ども像

確かな学力とコミュニケーション力・豊かな心を身につけた子ども

2 今年度の特色ある取組

(1) 児童生徒が主体となる小中学校の交流を行います。

主な活動 ・あいさつ運動 ・授業や部活動の見学 ・サマースクールでの交流

(2) 小中学校相互の授業交流と授業改善や生徒指導の課題の交流と共通実践を行います

主な活動 ・生徒指導や教育相談などの情報交換 ・相互の授業参観 ・出前授業

今年度は4校が力を合わせ、上記のような取組を中心に行っていく予定です。特に授業の充実を図り、よりよい授業づくりや学力向上に努めたいと考えています。また、子ども達の主体的な活動を充実させてコミュニケーション力や豊かな心を育てていきたいと考えています。

今後とも「金沢小中一貫教育」の目的が達成できるようにさまざまな取組を行い、その様子については適宜この「小中一貫教育広報紙」でお知らせしていきます。

これからの成長が楽しみです

－金石中学校の入学式より－

桜が満開でしたが、あいにくの雨が降る日となった4月7日の木曜日に金石中学校の第70回目の入学式が行われました。

やや大きめの、真新しい制服で登校してきた新入生は、みな緊張や不安の面持ちの中にも期待の気持ちがあふれる表情をしていました。

入学式の新入生紹介では、担任から名前を呼ばれると、呼名に対し、大きな返事で応えていました。

校長より、新入生に対してまずは「道義を重んじ、自主独立の精神を養い、協力一致事に当たりましょう」という校訓についての説明がありました。そして、次には今年度金石



中学校の教育目標として掲げられている三つのこと、

「一 自他の生命を尊重し、人生を大切にできる生徒」

「一 和の精神を規範とし、感謝の気持ちを持つ生徒」

「一 よき伝統を守り、新たな地域を創生できる生徒」

についてのお話がありました。

また、「つらいことや悲しいこと、楽しいことや感激することなどたくさんの思い出が待っているはずの中学校生活では、3年間でたくましく成長し、社会に羽ばたくことがみなさんの使命である。」という激励の言葉を

贈りました。

続いての矢田PTA会長の祝辞では、「いろいろなことに挑戦してほしい。」そして「成長してあらゆることに挑戦をしていくほど悩みは出てくる。むしろ、何も悩みがないというときには、今、自分は成長できているのか、と少し考えてみてほしい。」ということが話されました。また蔭田晋治（まきたしんじ）さんの詩の一節を紹介し、「両親や家族、地域や学校、その他たくさんの人たちに見守られ、成長を願われている。安心して学び、



遊び、楽しみ、悩んで、失敗してほしい。」というメッセージが伝えられました。

最後に新入生を代表して、岡部桃杏さんが誓いの言葉を述べました。

「これからの3年間、勉強や初めて体験する部活、行事をここにいる仲間達と共に励んでいきたい。」ということや「それぞれの夢に向かって精一杯頑張る。」という決意が述べられました。最後には「目標に向かって成長していく。」と誓いの言葉でしめくくりました。



中学生は心も体も大きく変化し、成長する時期です。これからも小学校と中学校が連携し、お互いに情報交換しながら、9年間を通じてめざす子ども像を実現していきたいと考えています。そして、小学校と中学校が一体となり、地域や保護者のみなさまとも協力しながら子ども達を育てていきたいと考えています。

